

形 S8AS2

スマートパワーサプライ

JPN 取扱説明書

このたびは、スマートパワーサプライ 形 S8AS2 シリーズをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この取扱説明書では、形 S8AS2 を使用する上で必要な機能、性能、使用方法などの情報を記載しております。ご使用に際して以下のことを守ってください。

- ・形 S8AS2 は電気的知識を有する専門家が扱ってください。
- ・この取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解のうえ、正しくご使用ください。

この取扱説明書はいつでも参照できるよう大切に保管ください。



リンク先に
取扱説明書
があります

オムロン株式会社

© OMRON Corporation 2025 All Rights Reserved.

使用方法の詳細については「スマートパワーサプライ 形 S8AS2 ユーザーズマニュアル」(カタログ番号: SGT-705) をご覧ください。
ユーザーズマニュアルはオムロンの下記の Web ページから無料でダウンロードすることができます。
(<https://www.fa.omron.co.jp/>)

ご承諾事項

当社商品は、一般工業製品向けの汎用品として設計製造されています。従いまして、次に掲げる用途での使用を意図しており、お客様が当社商品をこれらの用途に使用される際には、当社は当社商品に対して一切保証いたしません。ただし、次に掲げる用途であっても当社の意図した特別な商品用途の場合や特別の留意がある場合は除きます。

- (a) 高い安全性が必要とされる用途 (例: 原子力制御設備、燃焼設備、航空・宇宙設備、鉄道設備、昇降機、娯楽設備、医用機器、安全装置、その他生命・身体に危険が及ぶ用途)
- (b) 高い信頼性が必須な用途 (例: ガス・水道・電気等の供給システム、24 時間連続運転システム、決済システムほか権利・財産を取扱う用途など)
- (c) 厳しい条件下または環境での用途 (例: 屋外に設置する設備、化学的汚染を被る設備、電磁的妨害を被る設備、振動・衝撃を受ける設備など)
- (d) カタログ等記載の条件・条件や環境での用途
- * (a) から (d) に記載されている他、本カタログ等記載の商品は自動車 (二輪を含む、以下同じ) 向けではありません。自動車に搭載する用途には利用いたしません。自動車搭載用商品については当社営業担当者に相談してください。
- * 上記は適合用途の条件の一部です。当社のベスト、総合カタログ、データシート等最新版のカタログ、マニュアルに記載の保証・免責事項の内容をよく読んでご使用ください。

●警告表示の意味

⚠ 警告

正しい取り扱いをしなければ、この危険のために、軽傷・中程度の傷害を負ったり万の一の場合には重傷や死亡に至ったりする恐れがあります。また、同様に重大な物的損害をもたらす恐れがあります。

⚠ 注意

正しい取り扱いをしなければ、この危険のために、時に軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物的損害を受ける恐れがあります。

●警告表示

⚠ 警告

電線が抜け感電の恐れがあります。端子台に接続するときは、電線先端が端子台に突き当たるまで正しく挿入してください。



⚠ 注意

- ・軽度の感電、発火、機器の故障が稀に起こる恐れがあります。分解、改造、修理をしたり、内部に触らないでください。
- ・軽度の火傷が稀に起こる恐れがあります。通電中や電源を切った直後は製品本体に触らないでください。
- ・感電により軽度の傷害が稀に起こる恐れがあります。通電中は端子に触らないでください。通電時、本体内部には最大 390V の電圧が発生しています。電源 OFF 後も 30 秒間この電圧が残留します。
- ・軽度の感電、発火、機器の故障が稀に起こる恐れがあります。製品の中に金属、導線などは、取り付け加工中の切粉などが入らないようにしてください。

安全上の要点

- 設置・保管環境について
 - ・周囲温度 40℃～85℃、相対湿度 95% 以下で保管してください。
 - ・交換時期お知らせ機能の性能を維持するため、3ヶ月を超える長期の保管をする場合は温度 -20℃～30℃、相対湿度 25～70% で保管してください。
 - ・取付けには、機器の長期信頼性を向上させるために、放熱に十分留意してください。自然対流方式ですので、製品周囲の空気が対流するように取付けてください。(Fig.3) 左右間隔 15mm 未満時は、標準取付け時とはデレーティング曲線が異なります。
 - ・内部部品の劣化・破損が起こる恐れがありますので、取付け時にデレーティング曲線の範囲を超える状態では使用しないでください。
 - ・万の一の場合、内部部品の劣化・破損が考えられますので、遮断と復帰を必要以上に繰り返さないでください。また一時的なピーク電流が繰り返されるような場合も、ピーク電流が定格トータル出力電流を超えないように設計してください。
 - ・相対湿度が 95% 以下の場所で使用してください。

- ・低湿度環境下では使用しないでください。
- ・直射日光の当たる場所では使用しないでください。
- ・製品内に液体や異物、腐食性ガスが入る可能性がある場所では使用しないでください。
- ・振動・衝撃の激しい場所では使用しないでください。特にコンタクトなどの装置は振動源になりますので、周囲から離れ離して設置してください。
- ・放熱性の悪化により、稀に内部部品が劣化・破損する恐れがあります。電源本体のねじは緩めないでください。
- ・強い高周波ノイズやサージを発生する機器から離して取り付けてください。
- ・遮断性能は使用周囲温度によって保証されています。デレーティング範囲内で使用してください。
- ・本製品の出力側にバッテリーなどのバックアップ機器は接続しないでください。
- ・インバータには出力周波数を 50/60Hz と表示されているものもありますが、本製品の電源として接続した場合、内部温度の上昇により焼損の可能性がありま。インバータの出力をパワーサプライの電源として使用しないでください。

- 設置・配線について
 - ・アースは完全に接続してください。安全規格で定められた PE (保護接地) 端子のため、アースが不完全な場合、感電や誤動作の恐れがあります。
 - ・軽度の発火の恐れがある場合がある恐れがあります。入出力端子など銅線のないように注意してください。
 - ・配線時の発熱・発火を防ぐために、電線の定格を確認の上、下表の線材を使用してください。

推奨電線

端子	形式	推奨電線 (mm ²)	(AWG)
入力端子	S8AS2-24024-06□	0.5～2.5	20～14
	S8AS2-48024-08□	0.75～2.5	18～14
PE (保護接地) 端子	S8AS2-□□□□□	2～2.5	14
分岐出力端子 (+) 分岐出力端子 (-)	S8AS2-□□□□□	0.5～2.5	20～14
コモン出力端子 (-)	S8AS2-24024-06□	2～4	14～12
	S8AS2-48024-08□	4	12
入出力信号端子	S8AS2-□□□□□	0.25～4	24～14

注：・線材は銅製で、より線が単線を使用してください。

・75℃以上の耐熱電線を使用してください。

被覆剥きしろ

端子	推奨電線	フェールル 導体長さ	フェールル 端子使用時	フェールル 端子未使用時
コモン出力端子 (-) 以外	0.25～1.5mm ² / AWG24～16	8mm	10mm	8mm
	2～2.5mm ² /AWG14	10mm	12mm	10mm
コモン出力端子 (-)	2～2.5mm ² /AWG14	10mm	12mm	12mm
	4mm ² /AWG12	12mm	14mm	12mm

- ・配線は 100V 以上はリリースホールへのマイナスドライバ挿入時に 40N 以上 (出力端子台のみ 100N 以上) の力で端子台を押さえないでください。
- ・リリースホールには配線しないでください。
- ・リリースホールにマイナスドライバを押し込んだ状態で、マイナスドライバを傾けたり、ねじりしないでください。端子台が破損する恐れがあります。
- ・リリースホールにマイナスドライバを押し込むときは斜めに立てて行ってください。まっすぐに入れた場合は端子台が破損する恐れがあります。
- ・リリースホールに押し込んだマイナスドライバを落さないように注意してください。
- ・電線は無理に曲げたり、引っ張らずに出してください。断線する恐れがあります。
- ・端子 (挿入) 穴内に複数の電線を挿入しないでください。
- ・電線先端の被覆は剥きしろを確保し、正しく接続してください。
- ・振動・衝撃のかかる可能性がある場合は、フェールル端子付き電線、より線を使用してください。
- ・万の一の場合、内部部品の劣化・破損が考えられますので、遮断と復帰を必要以上に繰り返さないでください。
- ・通電時には、加工時に置ったシートなどを必ず取り外して、放熱に支障がないことをご確認ください。

- 出力電圧の調整
 - ・出力電圧調整 リマ (V.ADJ.) の破損が万の一の場合起こる恐れがありますので、必要以上に強い力を加えないでください。
 - ・出力電圧調整後は各分岐出力を合計した出力電力、出力電流は、定格出力電力、定格トータル出力電流以下にしてください。

- 詳細はユーザーズマニュアル、カタログを参照してください。

使用上の注意

この取扱説明書は購入時の初期設定に必要な最低限の設定値のみを記載しています。製品の詳細な設定操作をするときは、ユーザーズマニュアルを十分に理解の上、設定を行ってください。

・異常遮断動作が動作した場合は、必ずその原因を取り除いた後に、リセット復帰させるようにしてください。

・入力電源の再投入は、必ず原因を取り除いた後に行ってください。

- 取付けについて
 - ・取付け方向
 - ・形 S8AS2 は (Fig.3) に示すとおり、標準取付けまたは正面密着取付けとしてください。(Fig.3) のような上向き取付けや、その他の方向の取付けはしないでください。

- 入力電圧について
 - ・定格 AC100～240V
 - ・許容範囲：+15%～+10% (AC95～264V)
 - ・AC100V 未満は、1.33% のデレーティングをかけて負荷を軽減してください。

- 出力電圧調整について
 - ・出荷時：定格電圧に設定しています。
 - ・調整範囲：前面の「V.ADJ.」(H) により DC24～28V の範囲で調整が可能です。右に回すと出力電圧は上がり、左に回すと出力電圧は下がります。
 - ・注：V.ADJ. (H) の操作によっては、出力電圧が電圧可変範囲以上に上昇します。出力電圧を調整する場合は、製品の入力電圧を電線し負荷を軽減させないようご注意ください。

- 異常電圧遮断機能
 1. 形 S8AS2 本体は異常電圧遮断機能をもっており、設定値以上の電圧が出力されると、すべての分岐出力を遮断します。しかしあらゆる場合においても負荷及び内部が保護できるものではありませんので、出力電圧が電圧可変範囲以上に上昇します。出力電圧を調整する場合は、製品の入力電圧を電線し負荷を軽減させないようご注意ください。
 2. 逆ピーク起電力が発生するような負荷に対しては、異常電圧遮断動作で遮断する場合があります。

- 異常電圧遮断機能
 - ・形 S8AS2 本体は異常電圧遮断機能により、各分岐出力ごとにあらかじめ設定された異常遮断電流値を超えて電流が流れた場合、該当する分岐出力を遮断します。また、トータル出力ピーク電流の遮断条件に従い全分岐出力を遮断します。
 - ・注：1. 過電流状態での使用が継続すると、稀に内部素子の劣化や破損を招く恐れがありますので、大きな電流を避けてください。
 - 2. 万の一の場合、内部部品の劣化・破損が考えられますので、異常側突入電流、過負荷状態が頻発に発生するアプリケーションには使用しないでください。
- 交換時期お知らせ機能
 - ・入電圧の ON、OFF を頻繁に繰り返すアプリケーションでは、交換時期お知らせ機能の精度が劣化する場合があります。
 - ・一般的な使用条件では、稀に交換時期お知らせに達するは数十年から十数年後となります。長期にわたるご使用に際しては、定期的な交換時期が 0.5 年を下回っていないかを表示モニター、または以下の手順で出力番号 LEF-COM が常に動作することを確認してください。
 - (a) モニタモードにしてください。
 - (b) LEF-COM 間出力が ON (LEF-COM 導通) していることを確認してください。
- 遮断性能
 - ・遮断の電流特性は、判定種別として標準検出・瞬時検出・長時間検出の 3 種類から選択することができます。初期設定は標準検出 (Fig.2) となっています。詳しくはユーザーズマニュアルを参照してください。
 - ・注：1. 異常動作するような負荷を使用する場合、電源 OFF 時に遮断するようにしてください。
 - 2. 定格電力を超えるような負荷を使用する場合、電源 OFF 時に遮断するようにしてください。
 - 3. 電流の遮断精度は定格電流 0.3A です。
 - 4. 長時間検出については、当社の短絡検知機能付きリモート I/O ターミナルをご使用時のみおて行ってください。
- トータル出力ピーク電流
 - ・形 S8AS2 は、負荷装置の起動時に必要となる過大な電流に対応するために、一時的なピーク電流が流れるようになっています。各分岐出力の合計したトータル出力のピーク値は以下の通りです。ただし、トータル電流値が以下の条件の一つでも満たさない場合は、ピーク電流の大きさはより長時間にに基づき安全のため全分岐出力を遮断します。
 - (1) 240W タイプの場合
 - ・トータルピーク電流値・ピーク電流のバース幅：17A/2s まで、15A/5s まで、13A/10s まで、12A/20s まで
 - (2) 480W タイプの場合
 - ・トータルピーク電流値・ピーク電流のバース幅：27A/1s まで、25A/2s まで、22.5A/5s まで
- ・注：1. トータル出力電流がピーク電流値の最大値を超える場合は、本体内部の動作が不安定になります。以下の条件を確認後も出力電圧が出ない場合は、当社までお問い合わせください。
- 2. 異常遮断動作後、定常状態でのトータル電流は定格範囲内でご使用ください。

- 耐電圧試験 (Fig.5)
 - ・形 S8AS2 の入出力一括①～⑥分岐出力、入出力信号、一括③④⑤⑥間は 3,000VAC、1 分間に耐えるように設計されています。試験を実施する場合、耐電圧試験機のカットオフ電流は 20mA に設定して実施してください。
 - ・注：1. 試験機はスイッチでいきなり 3,000VAC を印加または遮断すると、発生するインパルス電圧により端子が破損することがあります。印加電圧は試験機は標準電圧に設定してください。
 - 2. それぞれの規定の端子一括①～⑥に印加できるように、必ず端子間を短絡してください。

- 絶縁抵抗試験
 - ・絶縁抵抗試験を実施する場合は、DC 絶縁抵抗計 (DC500V) を使用してください。
 - ・注：試験時は分岐出力端子 (+、-)、入出力信号端子は破損防止のため、必ず全ての端子を短絡してください。

- 出力電圧が出ない場合
 - ・内部回路の過電流保護、過電圧保護が機能している可能性があります。また、入りに雷サージなどの大きなサージ電圧が印加された場合は、ラッチ保護回路が機能している可能性も考えられます。以下の点を確認後も出力電圧が出ない場合は、当社までお問い合わせください。
 - ・過電流保護の確認
 - ・負荷が過電流状態 (短絡含む) になっていないかを (負荷を外して) 確認してください。
 - ・過電圧保護
 - ・過電圧保護、ラッチ保護の確認方法
 - ・一旦入力電源を OFF し、3 分以上放置後、入力電源を再投入してください。

- 外部信号遮断入力
 - ・この機能の使用に際しては、ユーザーズマニュアルを参照してください。
- 異常遮断動作、不足電圧検出出力、交換時期お知らせ出力、温度出力
 - ・MOS FET リレー出力：DC30Vmax、50mAmax、ON 時残留電圧 2V 以下、OFF 時漏れ電流 0.1mA 以下
 - ・各出力信号回路は正しく配線してください。また、各出力信号回路は内部に電流制限回路を備えていますので、出力電流が 50mA を超えないよう注意してください。
 - ・配線後は、正常に動作することを確認してください。

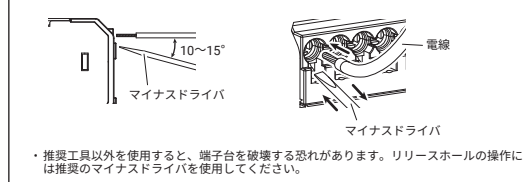
- 出力電圧値の表示
 - ・出力電圧を検出して表示する機能は、内部回路での AC/DC 変換後の電圧を監視しています。出力電圧の表示は、内部電圧検出部の値とは若干の違いが生じます。正確な出力電圧状態を確認する場合は、分岐出力端子の電圧を測定してください。

- 並列接続の禁止 (Fig.5)
 - ・別の分岐出力との並列接続はしないでください。また、別の 形 S8AS2 の出力側同士の並列接続もしないでください。

- EU および UK 指令への適合について
 - ・EMC 指令に適合するための使用条件については、カタログ、この取扱説明書を参照してください。

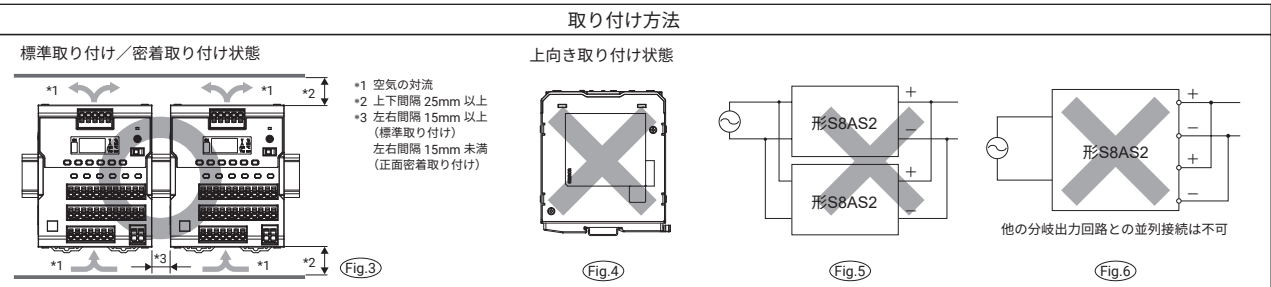
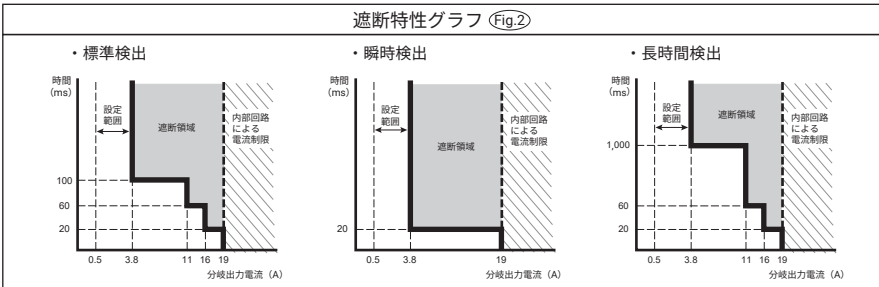
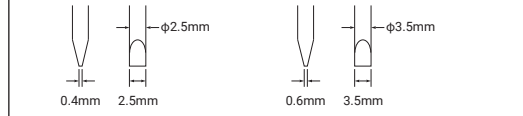
- 廃棄について
 - ・廃棄する場合は産業廃棄物として処理してください。

- プッシュボタン Plus 端子台への接続
 - ・端子台、単線接続する場合は、端子穴へ直接押し込んでください。
 - ・より線に接続する場合は、推奨 マイナスドライバで解除穴のテーパーに沿って真っすぐ押し込まし配線を端子穴へ挿入してください。



- ・推奨工具以外を使用すると、端子台を破損する恐れがあります。リリースホールの操作には推奨のマイナスドライバを使用してください。

コモン出力端子 (-) 以外の端子用 コモン出力端子 (-) 用



操作方法と機能

●形 S8AS2 のモニタモードと設定モードについて

・出荷時は、全分岐出力は接続 (ON) 状態で、モニタモードで起動します。使用しない分岐出力を非接続に設定した場合は、チャンネル切替キーで設定してください。また、設定モードでは各種パラメータが変更可能です。

●モニタモードでの操作

MON — SET

モニタモードでは出力電圧、出力電流、トータル出力電流、ピーク電流出力、交換時期までの年数、交換時期までの割合、積算稼働時間、内部温度を読み出すことができます。

① 出力電圧

① 出力電圧値を表示します。

② 出力電流

② 分岐出力の電流値を表示します。チャンネルダウン/アップキーを押下することで分岐出力を変更できます。

※分岐出力あり

③ トータル出力電流

③ トータル電流値を表示します。

④ ピーク電流出力

④ 分岐出力のピーク電流出力を表示します。チャンネルダウン/アップキーを押下することで分岐出力を変更できます。ピーク電流出力は以下の手順でクリアすることができます。

1) エンターキーを押します。

2) NO 表示から選択アップ/ダウンキーで YES：選択中の分岐出力をクリア

3) エンターキーを押します。

⑤ 交換時期までの年数

⑤ 交換時期までの年数を表示します。

⑥ 交換時期までの割合

⑥ 交換時期までの割合を表示します。

⑦ 積算稼働時間

⑦ 積算稼働時間を表示します。

⑧ 温度

⑧ 内部温度を表示します。

※モニタモードを離れたときの表示の項目と分岐出力は保持されます。再度モニタモードに移行した時の表示項目は、保持された項目・分岐出力になります。

設定モードでの操作

MON — SET

形 S8AS2 の設定変更は設定モードで行います。このときプロテクトレベルによる非制御制で表示せず変更できない設定値もありますので、必要に応じてプロテクトレベルを変更してください。パラメータの詳細及びプロテクトレベルの制限についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。ただし、形 S8AS2-□□□□□SIN では、プロテクトレベルにかかわらず、①～⑥のパラメータは表示されず、変更することもできません。

① 異常電圧遮断判定値 (C-V)

① 各分岐出力の異常電圧遮断判定値を設定します。分岐出力の電流が設定値を超えると、遮断され異常遮断出力 (TRP) が動作します。

設定範囲：0.5～3.8A

※他の分岐出力へはチャンネルダウン/アップキーで切替

② 異常電圧遮断判定値 (V-V)

② 異常電圧遮断判定値を設定します。出力電圧が設定値を超えると、遮断され異常遮断出力 (TRP) が動作します。

設定範囲：28.0～32.0V

③ 不足電圧警報判定値 (V-U)

③ 不足電圧警報判定値を設定します。出力電圧が判定値を下回ると不足電圧検出出力 (LOW) が動作します。

設定範囲：18.0～26.4V

④ 交換時期お知らせ出力 (LFE)

④ 交換時期お知らせ出力判定値を設定します。稼働時間と内部温度から算定された寿命割合が判定値を下回ると、交換時期お知らせ出力 (LFE) が動作します。

設定範囲：0.0～5.0Yrs

⑤ 交換時期までの割合判定値 (LFP)

⑤ 交換時期までの割合判定値を設定します。稼働時間と内部温度から算定された寿命割合が判定値を下回ると、交換時期お知らせ出力 (LFE) が動作します。

設定範囲：0.0～99.9%

⑥ 稼働時間警報判定値 (TIM)

⑥ 稼働時間警報判定値を設定します。稼働時間が判定値を上回ると、交換時期お知らせ出力 (LFE) が動作します。

設定範囲：0～132kh

⑦ 温度警報判定値 (TMP)

⑦ 温度警報判定値 (TMP) を設定します。内部温度が判定値を上回ると、温度出力 (TMP) が動作します。

設定範囲：25～100℃

⑧ プロテクトレベル (PRT)

⑧ 設定値を変更することで、他設定値の読み出しや変更操作を 3 段階で制限することができます。

設定範囲：Lv0～2

⑨ チャンネル切替キー (CHK)

⑨ モニタモード中にチャンネル切替キーによる分岐出力の接続/遮断を制限することができます。

⑩ C-V 表示へ移行

※本項で示す表示はプロテクトレベルを Lv1 に設定した場合の表示です。

各種パラメータの設定方法

設定モードでのパラメータ設定は次の 6 つのキーで行います。

CH ① ② ③ ④ ⑤ ⑥

① チャンネルダウンキー ② 選択ダウンキー ③ エンターキー

④ チャンネルアップキー ⑤ 選択アップキー ⑥ ESC/RST キー

① パラメータ表示でチャンネルダウンキーを押下すると、1 つ前の分岐出力に変わります。

② パラメータ表示でチャンネルアップキーを押下すると、次の分岐出力に変わります。

③ パラメータ表示でエンターキーを押下すると、設定変更状態に移行します。

④ 設定値変更状態で ESC/RST キーを押下するとパラメータ表示に戻ります。

⑤ 設定値変更状態では、選択ダウン/アップキーを押下することで設定値を変更できます。また、キーを長押しすることで設定値の変化が加速します。

⑥ 設定値変更状態でエンターキーを押下すると、瞬転した後「SETJ」と表示されます。

⑦「SETJ」表示終了後、設定値が判定しパラメータ表示に移行します。

各種警報の表示

設定モードで設定したパラメータに従って、形 S8AS2 本体はアラームを表示します。表示は各項目ごとにアラーム番号と検出値を交互に表示します。

表示	異常内容	出力状態
A10	異常電圧遮断	全分岐出力を遮断
A11	異常電流遮断	対象出力を遮断
A12	トータル出力電流遮断	全分岐出力を遮断
A21	不足電圧検出	遮断動作なし
A23	交換時期お知らせ	遮断動作なし
A23/HOT	温度警報	遮断動作なし
A30	温度出力	遮断動作なし

各種警報のリセット (復帰) 方法

各種警報が出た場合は、警報の原因を取り除き、本体の ESC/RST キーを押してください。異常解除が可能です。RST/ESC キーを 3 秒間押下してください。セグメント LED に「RST」が表示され、リセットが可能です。

注 1. 電源再投入により異常解除ができませんが、パラメータを変更することで電源再投入による異常解除を無効にすることもできます。(形 S8AS2-□□□□□SIN は不可。詳細はマニュアル参照)

注 2. 温度出力のみ、設定値を下回ると自動的に出力状態からリセット (復帰) されます。

チャンネル切替キーの動作表示

各分岐出力の動作状態は LED の点灯で表示されます。異常復帰の置換方法はユーザーズマニュアルを参照してください。

緑点灯	正常接続状態
緑点滅	スタートアップシーケンスによる接続待機状態
赤点灯	異常遮断状態 (復帰待機中)
赤点滅	異常遮断状態 (操作不可)
消灯	強制操作による非接続もしくは動作停止状態

遮断性能

遮断の電流特性は、判定種別として標準検出・瞬時検出・長時間検出の 3 種類から選択することができます。詳しくはユーザーズマニュアルを参照してください。

詳細はユーザーズマニュアルを参照してください。

・内部回路による電流制限

・形 S8AS2 は内部に一定以上の電流を流さないよう電流制限回路をもっています。遮断する時間には達するまでの間は、この特性により電流が制限されています。

・短絡保護ヒューズ

・何らかの異常により、分岐回路を半導体リレーで遮断できなかったときは、短絡保護ヒューズが遮断して回路を保護します。

(注) ヒューズが溶断すると、その分岐出力は使用できなくなります。

その他の機能

形 S8AS2 はさらに下記のような機能を持っています。詳しくはユーザーズマニュアルを参照してください。

- ・スタートアップシーケンスとシャットダウンシーケンス機能
- ・本製品を複数台使用する場合、シーケンス機能は単品の分岐出力間では保証されていますが、製品間での時間同期は取れません。
- ・外部信号遮断機能

各部の名称と働き

(Fig.1) 各部の名称

形 S8AS2-24024-06□ (240W、6 分岐出力) 形 S8AS2-48024-08□ (480W、8 分岐出力)

① 入力端子 (L)、(N) 入力線を接続します。

② PE (保護接地) 端子 (⑤) アース線を接続します。*1

③ 分岐出力端子 (+) 1 分岐出力あたり 2 極の端子を有するプッシュイン端子。

④ 分岐出力端子 (-) 1 分岐出力あたり 2 極の端子を有するプッシュイン端子。

⑤ コモン出力端子 (-) 各分岐出力の (-) 極の共通プッシュイン端子。安全確保のため PELV 出力に対応する場合、この端子を使用することを推奨します。

内部回路構成

⑥ 入出力信号端子

内部回路構成

(A) 異常遮断出力 (TRP) 異常電圧、異常電流を検出し、遮断動作したときに出力をします。(MOS FET リレー OFF)

(B) 不足電圧検出出力 (LOW) 入力電圧の低下などにより、DC24V 入力電圧が判定値を下回ったとき出力をします。(MOS FET リレー OFF)

(C) 交換時期お知らせ出力 (LFE) 設定した交換時期の残り年数に達するときに出力します。(MOS FET リレー OFF)

(D) 温度出力 (TMP) 温度が判定値を超えたとき出力をします。(MOS FET リレー OFF)

(E) コモン端子 (COM) 上記 4 点出力の共通導線。

(F) 外部信号遮断入力 (+) (TRG+) 外部からの入力信号により分岐回路を遮断することができます。*4

(G) 外部信号遮断入力 (-) (TRG-) 外部からの入力信号により分岐回路を遮断することができます。*4

⑦ 分岐出力番号 LED (緑) 現在選択中の分岐出力の CH を表示します。*2

⑧ 7 セグメント LED (白) 計測値、または設定値を表示します。

⑨ 単位表示 LED (オレンジ) 7 セグメント LED に表示中の値に関係する単位 (V, A, Apk, Yrs, %, kWh, °C, sec) の場合に点灯します。

⑩ 出力表示灯 (DC ON (緑)) 出力電圧の供給有無を示します。

⑪ 出力電圧調整トリマ (V.ADJ.) 出力電圧を調整します。

⑫ モード切替 SW

チャンネルダウンキー 分岐出力の切り替えに指標します。

チャンネルアップキー 表示項目の順送りや設定値を減少させるに使用します。

選択ダウンキー 表示項目の逆送りや設定値を増加させるに使用します。

選択アップキー 表示項目の切り替え、設定の確認・実行などに使用します。

エンターキー 表示項目の切り替え・取り消し、異常遮断動作または警報出力が動作しているとき、異常状態を解除します。

取り消し (ESC) / リセット (RST) キー 表示項目の切り替え・取り消し、異常遮断動作または警報出力が動作しているとき、異常状態を解除します。

⑬ チャンネル切替キー (赤/緑) 表示したより各分岐出力の接続/遮断の状態を表示します。遮断 (赤)、接続/復帰 (緑) *3 押ボタンスをタッチにより各分岐出力の接続/遮断を切り替えます。

*1. 安全規格で定められた PE (保護接地) 端子のため、必ずアースに接続してください。

*2. 電流以外は分岐出力番号 LED は消灯。

*3. 詳細の表示方法は「●チャンネル切替キーの動作表示」で記載。

*4. 外部信号遮断入力 (+/-) 極性を正しく配線してください。配線後は、正常に動作することを確認してください。

安全規格対応について

●EN/IEC 62477-1

- ・過電圧カテゴリ III (≤2000m)
- ・過電圧カテゴリ II (2000m および ≤3000m)
- ・機器は保護クラス II
- ・気候条件：3K3

●EN/IEC 61558-2-16

注意事項

- ・スイッチングモード電源 (SMPS)：
- ・耐短絡安全絶縁変圧機：

●使用周囲温度について

80% 負荷で最大 55℃、100% 負荷で最大 40℃

40℃を超える場合は、1.33%/K のデレーティングをかけて負荷を軽減してください。

●汚染度について

汚染度 2 の環境で使用してください。

●RCM への適合について

本製品は産業用機器として適合しています。

オムロン株式会社

インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー

製品に関するお問い合わせ先 クイック オムロン

お客様 0120-919-066

相談室 携帯電話・IP 電話などではご利用いただけませんので、右記の電話番号へおかけください。

055-982-5015 (通